



Subaru

男声合唱団



「ひよりのひよたん」  
(タネあかし)

ニュース No.310 '11.07.13

## 喜びのナーダム他をレッスン...7月1日(金)...

□7月1日(金)は、本並先生のヴォイストレーニングと指揮、静さんのピアノで「喜びのナーダム」、「天の火」と「ドライボーンズ」をレッスンしました。出席は31名でした。



□檀先生はこの日は、東北大地震のお見舞いと視察で、東北訪問中。「TERRAニュース」掲載のレポートを後のページに転載します。

## 「昴」総会・合宿レッスン

□日時 7月18日(月・祝)13時集合 ~  
7月19日(火)15時

□場所 新大阪ユースホステル

———詳細・次ページ———

## 関西紫金草合唱団セカンドコンサート

———満席の感動を呼び———

7月3日(日)守口エナジーホールで、関西紫金草合唱団のセカンドコンサートが開催され、訴えと熱意にあふれたレベルの高い演奏で、満席の聴衆の感動呼びました。

詳しくは、リンク先の「関西紫金草合唱団ニュース」をご覧ください。



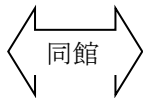
写真：関西紫金草合唱団ニュースから転載

(タネあかし) マンゴの種を発芽させました(7×4×12cm高)。

# 晶 総会 会場

7月18日(祝)～19(火)

会議



宿泊

青少年文化創造ステーション  
(愛称:KOKO PLAZA)

TEL 06-6370-5421 / FAX 06-6370-5423

新大阪ユースホステル

TEL 06-6370-5427 / FAX 06-6370-5428

〒533-0333

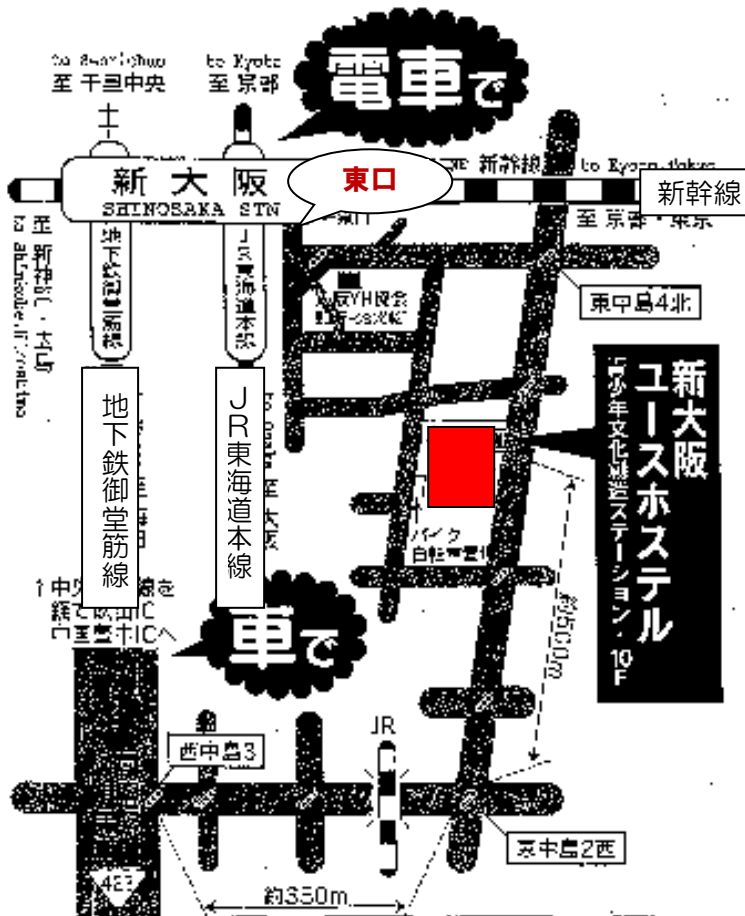
大阪府大阪市東淀川区東中島1-13-12

KOKO PLAZA 10F 新大阪ユースホステル

<http://www.bsaka-yha.com/shi-osaka/>

## 周辺地図 MAP

- JR新大阪駅より徒歩約3分。  
荷物を持ってのんびり歩いても5分くらいかな?
- 地下鉄からはJRコンコースを經由して7～10分ぐらい。  
めちゃ近!!



## スケジュール

18日	1時	集合	総会
	6時	食事	風呂
	8時	交流会	
19日	8時	朝食	
	9時～3時	練習	

□必ず「東口」から出る

□地下鉄「新大阪駅」からは、「新幹線コンコース」を抜けてまっすぐ行くと「東口」(徒歩4分)

□「東口」から徒歩3分

□KOKO PLAZAの10Fが「新大阪ユースホステル」です。

間があきましたが、「昴ニュースNo.302号」に掲載した藤後団長の『語り部』手記の続きです。

『戦後65年 語り継ぐ戦争の記憶』平成23年3月発行 編集 富田林市人権部人権政策課に『語り部』として藤後団長が執筆された稿です。提供；藤後団長

## 十六歳で捕虜に（続き）

藤後 博巳

（前回掲載のあらすじ）16歳で満州開拓青年義勇隊訓練生としてハルピン郊外にいた藤後少年は、敗戦後ソ連軍の捕虜として身柄を拘束され、無蓋列車に乗せられて、200km離れた山深い小さな駅まで連行されるが、そこで、ソ連兵の銃口をつきつけての過酷な略奪にあい、貴重な衣服や携帯食料を失う。小さな駅から先は、徒歩の行軍で、連日の土砂降りの雨の中を、テントも合羽もなく、震えながら体を寄せ合っただけの野宿、飢餓に苦しみながらの行進となる。そこで悪夢のような消し去ることのできない光景を目にする。道際に行儀よく並べられた幼い子供3人の死体、眼をうつせば、腐乱し半ば白骨化した日本兵の死骸。藤後少年は自らの「死」と酷い戦争の犠牲者に直面し消し去りがたい衝撃を受け、平和の尊さを身にしみて実感する。

.....

私たちが若かったこともあって、なんとか無事で着いた牡丹江捕虜収容所が、内地送還の基地ではなく、シベリアへの強制労働送りの場所であったことを知って、私たちは愕然として色を失いました。これは、これまで精神的な支えだった帰国の夢が断ち切られたことを意味し、もしかしたら将兵と一緒に連行されるのではという不安にかられました。幸いにも教官たちのソ連軍当局への懸命な懇願の甲斐あって、一ヶ月後に釈放されます。もしも、シベリアへ連行されていたら心身とも憔悴しきっていた私は多分死んでいたでしょう。私にとって正に生死を分けた運命の分かれ道だったと思います。

この収容所で私たちは施設の撤去、爆破作業、線路工事、戦利品の貨車積み込み等の使役に駆り出されますが、栄養失調の上に疲労が重なって仆れる者が続出するという様相を呈しました。私はハルピンに帰る際には、同僚に担架で担がれるという有様でした。

戦争を知らない世代が国民の大多数を占めている今、この手記のなかの「餓死」、「白骨」という文字に嫌悪する人もいるでしょう。私自身も「もう語りたくない、書きたくない」と何回も思いました。しかし、やはりしなければならぬ、その生き地獄の姿を一人でも多くの人に伝えなければと。 （おわり）



# お見舞い申し上げます

T2 の岩本廣便さんが、手術と療養のため、退団されます。岩本さんは昴創立以来のベテラン団員で誠に残念ですが、ゆっくり静養されて、手術が成功し、ご快癒されますようお願い申し上げます。


## 【岩本さんからのお手紙】

5月の風コンサートも終わり、また新しい一歩が始まったところですが、皆さんと共に同じように進むことが難しいことが起こりました。やむを得ず、6月末をもって退団いたします。7月中旬に手術をすることが決まり、その準備をしています。今後はあれもこれもではなく、絞って細く長くをモットーに生きて行きたいと思えます。昴の皆さんと過ごした数々のこと、特にNHKホールでの10周年コンサート、南京公演は私の宝ものです。昴の今後のますますのご活躍を願っています。

8/6  
(土)

## からほりピースフェスタ

### 平和の鐘をならそう！被災地に希望を



**参加費無料**

**第1部** お寺で平和の鐘つき  
妙徳寺で被爆・震災展

8:15~9:15 平和の鐘をつこう  
妙徳寺 正覚寺

お寺を回って平和の鐘つきをします

9:30 ・妙徳寺にてご住職のお話  
・被爆者のお話

( 本堂で被爆・震災展は一日中開催しています)

**第2部** 13:00~16:00 丸与ホール  
作品展

絵てがみ・水彩画・おりがみ・書・スラッシュキルト

体験コーナー・健康チェック

おはなしの会 田中やすこさん

折り紙 千羽鶴を折ります 体脂肪・血圧・体年齢・相談等

絵てがみ うちわ・紙コップに描きます。 朗読発表

灯籠づくりをします モブロンスター・絵本読み聞かせ

半紙に一筆啓上

「昴」  
出演します！  
17:30

**第3部** 17:30~19:30 妙徳寺本堂&境内  
たそがれピースコンサート

みんなで歌おう

男声合唱団「昴」  
リーダー演奏  
被災地の復興を願って  
・サインダンス(手話ダンス)  
被爆者のお話  
フルート演奏  
うたごえサークル「ルルン」

主催 [からほりピース「平和の鐘をならそう！被災地に希望を！」] 実行委員会 連絡先 しんぶん中央支部気付  
TEL06-6245-0781 FAX06-6245-0838 ホームページに掲載しています。 <http://www.sf-osakachuo.ne.jp>

東日本大震災復興支援・障害者自立支援

「心のかけはし出版記念」

## 絵手紙コンサート

□ 8月14日(日) 13時30分開場

□ 西宮プレラホール

□ 昴演奏曲

- ・シルクロード
- ・歓びのナーダム
- ・ねがい

□ 参加協力費 ¥1000

「昴」  
出演します！

## 1. 特集、東日本・被災地視察旅行報告！！

7月1日から5日まで檀、村嶋、そして後半は檀上さわえ先生も同行され、岩手・宮城県を中心に車で駆け回る東北路800キロ以上の旅行を無事終えることができました！！現地の空気感といった実際に足を運ばないとわからない被災地の「今」を知ることができたことは大変大きなことだと思います。時間やお金、体力も使ってあえて「そこに行きたい！！」という2人の思いの現れを理解の上、報告を読んでください。



その1「一本松の陸前高田」、その2「宮城ふきのとう合唱団」、その3「地熱発電、風力、バイオマス発電の葛巻町」のレポートをこれから随時、お届けします。

## その1 津波で壊滅の三陸の町、「陸前高田市」からのレポート！！

檀・村嶋は7月3日(日)の朝、花巻から現地に入り、レンタカーで内陸部から海岸線へと続く道を行き、う回路なく「陸前高田」の道へと入りました。点在するブルーシートに覆われた家が見受けられ、田や畑に実りはなく、人の気配の感じられない、それでも「穏やかな」光景の中を行きました。その様相が一変するのは海岸線に近づいた所からです。表現すると「きれいに整地された建設予定地」のような、360度が見渡せる平地、そしてあちこちに「がれき」の山の町が少しずつ見えてきました。

道だけは広くどこまでも海岸線につながっているといった感覚の道でしたが、私たちが近づいていたのは、この町の中心街だったところでした。やがてがれきになったビル(漁協や旅館、公民館など)がいくつもゆがんだ無残な姿で横たわっているのが目に入ってきました。あきらかに高い津波にあったことがわかるように上の階まで窓がぶちぬかれ、人っ子一人いない無人の街が存在していました。さらに進んでいくとかなり仕分けられた「ガレキ」が目に入ってきました。<へちゃげた車の山><取り外されたタイヤ><鉄くず><木片>・・・などです。所々で重機も動いてはいましたが、津波がなめつくした、見渡す限りの荒野の町でした。写真を撮っている私たちに「大阪県警」のパトカーが話しかけてくれました。「一本松」の所在を尋ね、さらに車を海岸に進めると、遙か彼方にぼつんとあの松が見えました。こんなに遠くでも見えてしまうほどのたった一本！！7万本松もあったという名所の、観る面影もない姿でした。なんとか蘇らせたいという現地の人々の、包帯を巻くように保護している姿がより胸を打ちました。でもそこでも誰にも会えませんでした。

帰ってきてからもっと「陸前高田」を勉強して、ここの戸羽太さんという市長はこの2月に当選したばかりの革新市長で、津波で奥さんを亡くしながらも不眠不休で町の再建にあたっていること、皆がちりじりばらばらになる前に「仮設の普及を」とどこよりも早くに国に申し入れて現地で実現行動していることを知りました。あのきれいに仕分けられたガレキは「自分たちのやれることはやっている、その撤去など早く国でやるべきことをやってほしい」との思いが伝わる整然さだったと思いました。私たちは実はもっと散乱し腐敗臭ただよう現実を覚悟していたのですが、まったくそれはなかったことを報告に入れたいと思います。そしてこの地を応援したい気持ちがあふれています。







## 2. 「絵手紙コンサート」の取り組み進む！！

永井喜代子さんは東日本に送る大きな絵手紙を作成中で、ひまわりの絵の入ったとても素敵なものです。今回の旅行で、東北への「絵手紙」の送り先の候補が浮かびあがってきました。この決定は、7月21日の実行委員会で話し合いたいと思いますが、私たちの愛と平和の絆の広がりが確実に東へ東へ伸びてきている予感があります。

さらには私たちは西宮プレラホールにスタッフとの打ち合わせに行き、かなり全容が見えてきました。今回のコンサートの趣旨に理解を示し協力的でした。そして懸案だった「東日本からこちらに避難している被災者」の紹介を文化振興課で行ってもらえる段取りが付きました。また来週12日に毎日新聞の取材があり、永井さんと檀・村嶋で対応します。

ということでいよいよ近付いてきましたので、前回お願いしましたこれらの無料招待などの活動を実現するためにもチケットの入金をチケット係（上野さん、竹中さん）に早急にしてください。実際の声かけも、お盆と重なりますので急いでください。

## 3. 10月10日リサイタルチケットの声かけ、本格化よろしく！！

観客のみなさんの10月10日のスケジュールを確保するためにも早めに声をかけて、チケット販売の本格化をしましょう。「絵手紙」と並行してチケット係（荒川さん、鶴丸さん）までお願いします。

節電や放射能や増税やと不安な報道に心擦り切れる日々ですが、正しい真実の情報をしっかり掴む勉強が大切です。と同時に私たちの精神、「愛と平和の絆」の音楽を弱い立場の人たちのために広げていく気持ちを持ち続けることです。今回の旅行も、「絵手紙」も「ソロリサイタル」もその1本の道筋にたったものです。その精神に立てば、「今、できること、私たちにしかできないこと」が見えてくると思います。どうか私たちの取り組みを支援・協力してくれる人たちへの呼びかけをしてください。その意味でのチケット売りです。よろしく！！

## 4. 「無言館」での檀ソロの話も・・・！！

この間、檀美知生に無言館でのソロの話も入ってきました。ただ日程のことや、アカペラでの演奏などいくつもクリアせねばならないことがあり、今回は見送りにしました。同じ聴いていただくなら、合唱もピアノ伴奏も付いてのチャンスを追求したいと思っています。来年に関西での話もあり、その初演を切り開き、今も大切に歌っているTERRAの皆さん、今後のそのチャンスに是非期待してください！！